



発行
大阪府立園芸高等学校大園同窓会
〒563-0037 池田市八王寺2-5-1

印刷
株式会社 サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
電話 079-284-1380

校歌

銀杏の木陰
真理にひらく
道のりゆく
知恵の門
みのりゆたかに
いま結ぶ
木の実尊き掌
幸ありわれら
われらが腕
土のかおりも
さわやかに

ご挨拶



大阪府立園芸高校同窓会会長
園芸高校第8期卒業 薬学博士
鍋谷 将

まず、3月11日の東日本大震災と大津波で多くの方々が犠牲となられたことに対してお悔やみ申し上げます。

大園同窓会の皆様方はご健康で、お忙しいことと存知上げます。昨年は池田市が提案した園芸高校の移転問題で、皆様に反対署名運動をお願いした所、1万人以上の署名が集まり、多くの方が関心を持って頂いていることを確信いたしました。

皆様の署名を持って大阪府知事、教育委員会、池田市長の3者に抗議文と、署名人名簿を提出してきました。お蔭様で、この件は白紙に撤回されることになりました。ご心配をおかけいたしましたが一応収束いたしましたことを報告いたします。

次に4年後に迫ってまいりました100周年記念事業は昨年の降って沸いた移転問題で一時的に中断しましたが、今年度から本

格的に準備を進めております。現在、100周年記念事業をアピールするために171号線の北側沿いのブロック塀に「花とみどり」と食の創造・未来へ100年の歴史 花咲く 府立園芸高校」という看板を作りしました。

100周年を成功させるには多くの皆様のご協力が必要です。これまでの10周年毎の記念事業は支部活動を活性化して支部の力強いご協力で行なってきました。しかし、現在支部の会員に加入しておられる方が高齢化となり、支部活動が衰退しております。そこで、今回は、各クラスの代表幹事を任意に推薦させて頂きまして、お願い状が届きましたら是非ご協力を賜り

ますようお願い申し上げます。幹事の方によって同級生の方々に100周年記念事業をアピールして頂くようご協力を得なければ成功できません。一人でも多くの方が関心を持って頂き、すくことをお願いする次第です。

園芸高校で学ばれた多くの同窓生は各地の役所や自治会の運営に携わり、農業振興にご活躍しておられることと存知上げます。日本の農業は毎年衰退の一途をたどり、農業に携わることが少なくなっています。農業は地方産業ではなく、実践に携わる生徒の教育を大都市で学び農業の基盤を大阪府立園芸高校から立ち上げて日本の農業産業を発展させて頂けることを願っています。

ごあいさつ

大阪府立園芸高等学校

校長 土橋 茂紀



同窓会の皆様には母校の教育振興と在校生の激励のために平素から特段のご後援を賜り厚く御礼申し上げます。前任の桑田校長の後任として4月1日付けをもって本校教頭より校長となりました。前校長同様にご鞭撻くださいますようよろしくお願い申し上げます。

最近では同窓会の皆様や地域・商店街の皆様から園芸高校生は良くなった、特に行儀がよくなったとお褒めいただいております。校長としてはその言葉は本校への期待と後押しという言葉として受け止め、さらなる飛躍へつなげたいと考えています。そこで、本年度「ボトムアップ、トップアップ、

全体アップ」を合言葉に、1基礎学力の向上、2専門性の向上、3学ぶ環境づくりを3つの重点目標に掲げ、生徒のやる気を喚起しているところです。基礎学力の向上のための7時間目授業の導入、専門性の向上のための農業クラブ・課題研究の活性化を図るとともに学ぶ環境づくりとして授業改善や古くなった施設設備の改修、新規機種への導入に力を入れていく所存です。昨年度は技能オリンピック造園部門国内大会に大阪府の高校生として参加したことをはじめ、多数の競技での研究発表等の活躍がありました。本年度も技能オリンピック造園部門国内大会をめざ

すとともに各種研究発表に力を入れていきます。「ウコンの栽培及び新たな食品利用法の探究」、「さくらジャムの研究・開発」、「ステビアの栽培・甘味料利用」、「そばに関する研究」、「JAXA宇宙種子実験への参加」、「LED光源による人工環境での植物栽培」、「野生酵母の耐凍性に関する研究」、「質産産物を利用したゆずポン酢の商品化」、「養蜂による特産物づくり」、「ブルーギル・オオクチバス防除と水生昆虫復元」等々、生徒たちはさまざまな研究に取り組んでいます。この中に同窓生の皆様の得意分野があり、ひとつ手伝ってやろうというところがあり、またお申し出いただく等ご支援よろしくお願いいたします。その他、農業に関する技能支援等もございましたら後輩のためよろしくお願ひ申し上げます。

さて、創立100周年もあと4年後になりました。100周年行事といえば豪華盛大にとお考えの方もおありと思いますが、校長として、本校の未来に向けての明るい展望を示すとともに、同窓生それぞれの方々が学生時代を思い出し、旧交を温め合う心のこもった100周年記念行事を行うことができればと思います。その規模は問題ではないと思っております。すでに本校果樹園南壁に「Since 1915 創立100周年 大阪府立園芸高等学校 花と緑と食の創造・未来へ」というカラー看板コピーが完成しています。

また今年度中に記念の日本手ぬぐいを作り、100周年記念の準備を進めていく予定です。平成28年度の全国農業クラブ大阪大会の準備、私学も含めた授業料無償化に伴う諸問題等、今年度もまたたくさん課題がありそうです。今後とも同窓会皆様の皆様のご協力をお願い申し上げます。最後に、大園同窓会のさらなる発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

創立100周年に向けて

1. 会員データ登録のお願い

会則にもありますように会員の現住所等のデータは、(株)サラトにて管理されております。しかしながら、正会員の内で五千名以上が登録の更新をなされずに不明扱いとなっております。この会報が届いていない方は、ほとんどが登録されていない方ですので、もしも同窓生のお知り合いでそのような方がおられましたら登録されるようにお伝え下さい。(登録方法は、P8にございます)

2. 資料提供のお願い

創立100周年記念誌にて収蔵するに相応しい資料をお持ちの方は、ぜひ事務局までご提供ください。寄贈ではなく、貸与の形で結構です。園芸学校時代や園芸高校創設当初から改築時代のものを特に収録したいと考えております。(宛先は大園同窓会事務局でお願いします)



四年間を振り返って

大阪府立園芸高等学校 前校長 桑田 芳治

大園同窓会の皆さんには、平成19年4月から4年間お世話になりました。ありがとうございました。校長として教員生活最後の4年間を皆さんの母校である園芸高校で過ごせたことを誇りに思っています。また、昨年度末に環境緑化科が、技能オリピックへの出場など造園教育の成果を認められ、科として優秀教職員等表彰を受けましたが、その関連で私も定年の歳になって初めて、優秀教職員表彰をいただきました。これは、園芸高校で4年間過ごさせていただいたことによりです。本当に、ありがたいことと思っております。

私は、前任校の時から実業系高校の校長として農業高校の勢いを感じていました。園芸高校の生徒がFFJ全国大会の意見発表部門で2年連続して文部大臣賞を取ったのは秋澤校長先生の時であり、園芸高校も移動動物園などで活躍し頻りにテレビや新聞の取材を受けるなどしていました。そんな流れの中で、私の着任後、子どもたちの活躍がマスコミに多く取り上げられるようになりました。平成19年8月に長居陸上競技場で開催された世界陸上の表彰式に手渡される花束を本校で栽培した花を中心に子どもたちが作り出したが、全国版のニュースで流れました。また平成20年6月には、毎日放送の「ちんぷんぷい」の「学校に行こー」に登場。楽しい学校の様子が関西一円に流されました。知名度が上がるとともに、それまでの本校の遅刻や頭髪、服装を主とした生活指導の取り組み等が功を奏して、学校の雰囲気だんだんよくなりました。

学校運営に学外の意見を取り入れるための学校協議会の委員の一人である石橋商店会の上田会長さんは、登下校する子どもたちの様子を長年見てこられて、園芸高校生が変わってきた、よくなってきた、と感じておられ、石橋祭のまだ新しい祭りである「春団治祭り」に参加するよう声を掛けてくださいました。後日談ですが、祭りの準備段階では園芸高校生の参加に不安を感じられた方も多かったようです。しかし、上田会長が自信を持って押し進め、結果として非常によい評価をいただきました。子どもたちは地域での活動を通して、地域の皆さんの温かい目を感じること、行動が変わってきました。遅刻は減り、退学者も減りました。そして何より、子どもたちが園芸高校に誇りを持つようになり、雨の中でもしなげればならない作業はする。そんな農作業の厳しさを体験できたことを、子どもたちから「学ぶ喜び」として伝えることができるようになりました。

真夏の炎天下でも、環境緑化科の2年生は、全員が造園技能士3級の試験を受けて、結果を出せるようになりました。子どもたちが自分たちの学びに自信を持つようになりました。昨年度はさらにいっそう自信を持たせるために、文科省からスーパー・サイエンス・ハイスクールの指定を受けるべく申請しました。残念ながら指定を受けることはできませんでしたが、平成24年度からの指定に可能性を残した指導を文科省から直接受けることができました。創立100周年に向けて、この方向で

進んでいってほしいものです。ところで、池田市による本校の伏尾台への移転等の案につきましては、皆様の絶大なお力添えで押し返すことができました。今年の5月末に倉田市長が来校され、「本校の2ヘクタールの土地と北豊島中学校の土地を交換してほしい。そこに小中一貫校を建設したい。」ということでありましたが、6月の段階で池田市教育委員会が市議会に出した学校の敷地での一貫校建設を平成27年度から着手し、平成30年度開校ということになっています。現時点では、本校の移転、再編整備、本校敷地の割譲のどれも消えた状態です。しかし、今後も市と府、府教育委員会の動きを注視しておく必要があると考えています。

最後になりましたが、創立100周年に向けて、その基金から国道171号線に面した農場のブロック塀を塗装し100周年のキャッチフレーズを掲出させていただきました。ご報告とともに、御礼を申し上げます。また、今後とも、誇り高い園芸高校づくりに大園同窓会の皆様のいっそうのご支援、ご協力をお願いいたします。この稿を終わらせていただきます。

大園同窓会平成22年度会計報告

収入項目		収入金額
繰越金		2,677,183
年会費		892,870
入会金		624,000
雑収入		10,787
計		4,204,840

支出項目		支出金額
総会費		54,886
会報費		942,158
通信費		1,535
事務費		66,985
卒業式費		23,940
記念祭費		19,304
ホームページ費		53,130
署名案内発送費		779,700
計		1,941,638

収入合計 4,204,840
－ 支出合計 1,941,638
2,263,202
残金 2,263,202円を平成23年に繰り越します。

ご挨拶

大阪府立園芸高等学校 教頭 北之防 勉

大園同窓会会員の皆さまにおかれましては、ご健勝のことと拝察いたします。本年度より教頭を務めております。会報発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年度に起こった本校の移転騒動の際には会員の皆さまには多大なご支援を賜り、この話も一応落ち着いた感があります。改めまして、大園同窓会の結集力と愛校心の大きさに感服するとともにお礼を申し上げます。

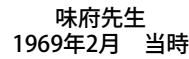
さて本校では、生徒が本来の意味での「生きる力」を身につけることを目標に日々、様々な農業教育を実践しております。資格取得や各種発表会への参加など多くの成果が出ています。昨年度末までその現場にいた経験を生かし、教頭職として、そのまとめ役を少しでも果たせたらと思っています。

最後に4年後の創立100周年への皆さまのご支援とご理解をお願いいたします。ご挨拶にかえさせていただきます。

離着任の紹介

退職	桑田 芳治	校長	所属
	平井 文友	教諭	国語科
	佐治登志子	教諭	国語科
	西田 康夫	副主査	農場
	市川 安士	技師	農場
転出	土橋 茂紀	教頭	本校校長
	薩木登志記	教諭	国語科
	山本 修三	教諭	豊中高校へ
	北之防 勉	主席	能勢高校へ
	葉山 住秀	教諭	環境緑化科
	山根 裕子	養護教諭	豊中高校へ
	来家 宏司	主査	西野田工科高校へ
	須藤三代子	副主査	渋谷高校へ
	中 千賀子	主事	実務支援学校へ
	石 清和	技師	福祉部へ
転入	丸山 実生	教諭	国語科 新規
	山口己津雄	教諭	体育科
	湯谷 廣子	教諭	池田高校から
	橋詰五百騎	教諭	フワフワアクトリ科
	佐伯 純子	養護教諭	松原高校から
	桑田 圭子	副主査	環境緑化科 新規
	中井 博	副主査	養護
			池田高校から
			茨木西高校から
			豊中高校から

西良祐



大阪府立園芸学校第20回卒業生（昭和18年卒）の松田健之助様より寄贈されました。
戦時中の北海道援農活動（食糧増産のため）の貴重な資料です。

移転問題その後

園芸高校長 土橋 茂紀

会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解ご協力を賜りまことにありがとうございます。さて昨年度の池田市による「府立園芸高等学校誘致移転に伴う街づくり構想」による移転問題に關しましては、反対署名提出後本校への働きかけは特にありませんでした。ただ当時、池田市長は「市長を飛び越える記」で「今後まだまだ府や府教育委員会と交渉を繰り返す必要があるため」、「府や府教育委員会に継続協議していく」、「旨を書いていたためその後の進展を気にはしております」。

今年度に入り動きがあり、5月17日に市長および教育長らが本校に挨拶に来られました。内容は「移転問題は一応そのままとし、『池田市の学校施設再編整備(小中一貫教育の推進)』のため、府立園芸高校の敷地の一部を池田市へ譲渡」してほしい」という要望を府と協議に入る前の当該校への事前挨拶でした。その後7月13日府教育委員会に説明に行き、7月20日には市長が来庁し、正式に池田市の案を依頼したようです。

今回の件は前回のように跡地を商業地や宅地とする案ではなく、池田市の教育環境整備の一貫であり府教育委員会も「協力する方向」という姿勢をとっています。本校としては前提に「敷地の一部譲渡ありき」ではなく、また、本校一校のみの利益にこだわるのではなく、池田市の小学校・中学校そして園芸高校の3者に益する将来像をまずは模索してい

支部だより

豊中支部

母校今も賑に

高11豊中化学科 小畑 晴子



お顔が、目に浮かぶ。

豊中化学科の十一回卒業生である。私は、特に校門から続く、銀杏並木が好きで、登下校の折、四季の移り変わりを、左右の並木から感じつつ歩を運んでいた。ぎんなんを拾って、手を荒らしたのも懐かしい。

卒業後、豊中市役所から、市内の中学校へ派遣。実験助手として、四十二年間勤務。余暇に俳句という趣味を持った。俳句は、四十余年に及ぶ。

俳句は季節を五感で受け留め、それを十七音の作品に詠みあげる文学である。

学生生活は、普通高校にない、広大な学内で自然豊かに、伸び伸びと過ごした。

自ずと、俳句という世界のベースになった。私が在学中、山田千城(信四郎)と号する先生が、職員、俳句の指導をなさっていた。

また「苑」という俳句雑誌で、栗原、山下両先生が、現役で活躍。心強い。

化学科と文学とは、ミスマッチのように思われるが、今年の四月に私は、第四句集「白帝城」を出版した。その序文を、昨年物理学で、文化勲章を受章された有馬朗人先生に頂戴した。有馬先生は、私の所属誌「天為」の主宰で、俳人としても名高い。元東大総長、文部大臣であった。化学、文学の境界はない。

お仕事上で、困る事のないご指導を下さった先生方。退職後、心のオアシスとして、体の一部分になつていった俳句。

良き師。四季の花々が美しく咲き乱れる、田園風景の中で学んだ、青春時代。

その恩恵と共に、古稀を越えた今も、俳人として、全国版の知名度と、三教室の講師を授かり、旅から旅への余生を、満喫している。

母校への敬慕しきりなる今日此の頃である。

池田支部

母校の思い出と今思うこと

高27造園科 谷端 裕之

はじめに、この度の東日本大震災の被災者の皆さんに心よりのご冥福とお見舞いを申し上げます。

早いもので、私が造園科を卒業してから36年の月日がたちました。12万平方メートルというとても恵まれた敷地の中で、まるで公園の中で勉強できるというのは幸せでした。敷地が広いということは人の心もおおらかにするの、普通科の学校にはないゆとりとした時間が流れたようにも思います。当時の私達の担任は、1年が石田先生、2年が周野先生、3年が渋谷先生、園芸科には金崎、西、両先生のよう

にテレビ出演もされるような専門的なエキスパートの先生方も数名おられ、今から考えればちゃんと勉強すれば良かったなと後悔します。造園科というのは1クラスで3年間同じということもあり、非常にチームワークがよく、3年間クラスの中でいがみ合い等は一度もなく、クラスの雰囲気は最高でした。

今から十数年前、ひんなことから造園科が栽培している大阪府下各学校への配布樹木の掘り取り作業や、学校周辺の剪定作業等を請け負う機会をいただき、作業中現在の生徒の実習の様子を見ることもあったが、我が在学中の頃の元気さがないように思えました。力がないので顔に。たまたま恩師の周野先生がおられたので話をうかがいましたが、実習も少なくなつたし、生徒もよくなるのがいやらしいのです。自分で志望してこの学校に来たんだらって言う。自分志望してこの学校に来たんだらって言う。自分志望してこの学校に来たんだらって言う。自分志望してこの学校に来たんだらって言う。

現在は建築様式が変わり、庭のある家等は皆無に等しく、財政難による公共の緑化も削減され、町の緑が増える機会がストップしてしまっているさみしい状況です。そりゃあ生徒達の夢も希望もなくなつていくと思います。

私の次女も来年受験なのですが、うれしいことに園芸高校に入りたいと思っております。そういう生徒のためにも、もっと緑化の提案を発信し、行政をまきこみ、地球温暖化阻止、震災で落ち込んでしまつて居る日本を緑のいやしで活性化するような教育を推進していけば生徒達の目も輝きを増すだろうし、日本の未来が見えてくるような気がします。

晴子

伊丹支部

日本とアメリカの友情を深める花

ワシントンの桜物語

高8 久保 勝平

アメリカ合衆国の首都ワシントンD.C.のポトマック河畔の桜は、明治の終わりにアメリカのタフト大統領夫人の希望により、当時の東京市長がプレゼントしたものです。その送られた最初の苗木は、病虫害がひどく焼却処分されました。その後充実した苗で知られる伊丹市の苗木が選ばれ、1万5千本の苗木を、静岡県興津園芸試験場へ持ち込み、ここで接木をされ、育った苗木6,040本が横浜港より出港され、無事アメリカに到着し、ワシントンに植樹されました。これは明治45年(1912年)のことです。ちょうど来年度(平成24年)は100周年に当たります。

伊丹市では日米友好の桜寄贈100周年事業実行委員会が、結成されました。大園伊丹会のメンバーである東野の方が中心になり、伊丹市都市活力部都市企画室長や、伊丹市国際平和交流協会、郷土史研究家、等のメンバーできめ細かな計画が成されています。

10年ほど前に、里帰り桜として、ワシントンの桜から養生した苗木が送られてきました。伊丹市では瑞ヶ池公園にその1本が植えられています。また当時アメリカからは桜の御礼として、ハナミズキの苗木を頂きました。そのため伊丹市では、桜や、ハナミズキの苗木が街路樹に使われています。この里帰り桜を種木として挿木をし、今、東野で里帰り桜の子孫を育てています。この桜を使って、東日本大震災被災地の、名取市、岩沼市両市で日米友好桜の復興記念植樹を、米国の参加も依頼し計画しています。

「日米友好の桜100周年記念フォーラム」を始め「里帰り桜」子孫樹の植樹式「米園との交流事業」これは苗木の寄贈植樹を行い、ワシントンの桜まつりに参加する交流事業です。「苗木の里東野企画展」桜の句会「茶会」等々、実に25項目以上の計画が成されています。

園芸高校の創立100周年に先立ち、今、伊丹市では日米友好の桜寄贈100周年で盛り上げています。

宝塚支部

庭園に咲く百花の王

私の生涯の愛花、牡丹の歴史と故郷

高3 武呂 勉

我が国三大園芸地で伝統ある宝塚市山本に在住いたして居ります。私は現在七十八歳高齢者ですが、今も元気で樹木を愛し園芸造園業に従事いたして居ります。

高校卒業いたしましたから六十年たちました。若い頃より花木の中で牡丹を愛花として今日に至つて居ります。

牡丹のもつ気品の高貴さ、豪華な華麗さはいずれの花にも勝る百花の王と呼ばれて居り、別名、富貴草、富麗草などと呼ばれています。その美しさは万人を陶酔させ、鼻を近づけて芳香に歓喜し、手を添えたくなる不思議な魅力あふれる華麗な花です。

牡丹は中国中部が原産地であり、中国からの婦人化や仏教の渡来等により我が国に移入され寺院で牡丹の根を薬用として栽培されたのが始まりとされています。

牡丹の歴史を辿りますと婦人化の倭漢族の阿智王にたどりつき、王は一族の民を率いて大陸より帰化し、大和国に入り我が国文化の基礎を築いたとされ、特に漢方医術に優れていたとされています。

山本の園芸鑑賞牡丹の始まりは、前人未踏の接木術を發明し、山本の園芸の基礎をきつた坂上頼泰の功績によるものです。接木の發明は園芸界にとつて画期的なものであり、品種改良に用いられ、山本の園芸、我が国の園芸にも大きく貢献してきました。

牡丹にも、この接木が応用され品種改良により華麗な新しい牡丹が作り出され、山本の牡丹の名声を全国に広め、牡丹は山本が故郷と言っても過言ではないのです。

このような豪華絢爛と咲き誇る艶やかな「花の王」牡丹が山本の里に咲き誇つていたので、私自身牡丹に惚れ現在も牡丹を愛花として居ります。

山本の地は背後に長尾連山、西に六甲山裾野には武庫川、東に五月山の麓に猪名川と三方を山に囲まれた段丘で、南に緩く大阪湾に向かって拓け風光明媚な暖かい土地で排水も良く乾燥を好む牡丹の栽培に最適地となつて居り山本が牡丹のメッカとした大きな条件の一つです。

日本の牡丹の栽培は、明治中期に入り我が国で第一位を占め皇室へ献上。また明治三十六年大阪で開催された第五回内閣勸業博覧会には当時の阪鶴鉄道（現在の福知山線）の中山駅と池田駅（現在の川西池田駅）の間である山本に臨時の牡丹鑑賞駅として花園駅が設けられ、牡丹の見物客に便を図られ賑わったと伝えられております。

明治三十四年には、フランス・パリでの万国博覧会に山本から牡丹五十種、二百株が展示され牡丹を初めてみる欧米の人々は高貴で華麗さに感動され、此れを期に毎年欧米に向けて牡丹を輸出された記録もあります。

昭和十年には新種の黄色い牡丹が山本の牡丹園より発表され人々を驚かし、金帝、金鶴、金閣、金陽と命名され販売されました。

戦後山本から残念ながら牡丹栽培は殆ど消え去りましたが、山本の牡丹園が屋敷内の花壇に銘花銘品種の牡丹を保存され、当時の名残りをとどめて居ります。

現在は全国の牡丹にゆかりのある地から里帰りした牡丹や、文化交流を目的に逆輸入した牡丹を土壌環境に適した花壇を作成、平成五年十月に山本から送った牡丹が里帰り、山本園芸流通センター花壇に植栽されています。牡丹の故郷山本を後世に由来を伝えるため、記念碑を建立。この記念碑に江戸時代の俳人・謝野蕪村が山本に足を運び牡丹を見て、次の名句を残しています。

「閨主の口や牡丹を吐かんとす」
「地車のとらと響く牡丹かな」

この句は旧暦四月八日牡丹祭の日に山本を訪ね牡丹栽培に祭に引出された地車の太鼓の音を聞いての句であります。

以上私の愛花牡丹の歴史と故郷である山本について記しました。

箕面支部

高24園芸科

尾上 克雅

私は長崎県で生まれ、家の事情で小学校三年生の時一家全員で大阪府豊中市に移り住みました。園芸高校に入るきっかけは、中学三年生になって進路を決めるとき、私自身デスクワークは自分に向いてないと思いまして工業関係もあり興味を感じていました。このことを担任の先生に相談したところ池田に園芸高校という農業の専門学校があるけど受け

てみたらどうだ、と言われ即座に園芸高校を受験することに決めました。長崎でも父が林業と、農業をしておりましてのやはりこういう仕事で自分に向いていると感じたのでしょう。

高校に入学して感動したのは、敷地の広さ、日本庭園の大きさ、歴史を感じる木造校舎や校歌の中にもある銀杏並木も人学した当時はありました。そして、国道一七号線のバイパス工事でもまだ工事中だった記憶があります。一年生の時の実習はとても楽しく、特に食品加工の実習でパンを焼いたり、マーメイドやニュービスを作ったり、ほかの実習も好きでしたが教室での授業は苦手でした。

高校に入ってから中学から続けていたバレーボール部に入部し、高校三年間しっかり練習させていただき当時顧問の古澤満雄先生、コーチの大阪体育大学生だった森本吉是さんにはずいぶんお世話になり本当にありがたございました。

古澤先生とは卒業後も当時バレーボール部のメンバーと一緒にお酒を飲みに行くなど、今でもお付き合いを続けていただいております。先生の自宅の庭木の手入れも毎年行っており、年に一度先生の元気なお顔を拝見するのが楽しみです。

さて、私は中学生の頃から早く働きたいという気持ちで強く、どんな商売か漠然としながらも独立開業したいと考えていました。高校卒業後造園関係の会社に就職しましたが、思っていた仕事内容と違い退職し、その後友人二人を交えた三人共同経営で造園の仕事を始めました。私は、庭づくりや木づくりの勉強をしたくて吹田市に所在する造園会社に行きまして、二十五歳で結婚して間もない時です。ちなみに妻も園芸高校の造園科卒業です。当時二台のダンプロトラックを自分で持ち込み日当七千円と安かったのですが、造園の勉強ができるのが嬉しかったので、す。しかし、トラックは毎年車検があり、車検の月が費用を支払うと収入がゼロとなりましてが妻が働いていたおかげで何とか生活して行くことができました。そして、念願であった独立開業をこの箕面の地で二十七歳の時にすることができて、必死になり働きました。

最初は個人企業であったのを四年後に株式会社組織替えし、今、独立してから三十年に及ぶ。箕面で商売を続ける中で大きな出

支部長の名簿

会報誌に住所、名前、電話番号を記載してもよいかを本人に聞きましたところ皆さんから了解を得ることが出来ました。

役職	氏名	住所	TEL
副会長 豊中支部長	森 彰男	豊中市庄本町3-11-25	06-6332-4908
副会長 箕面支部長	北口 和平	箕面市小野原西1-10-34	072-729-4981
副会長 猪名川支部長	大嶋 誠治	兵庫県川辺郡猪名川町榎並字清沢14	072-768-0854
副会長 池田支部長	山本 秋三	池田市吉田町243-3	072-751-7505
副会長 宝塚支部長	阪上 功	宝塚市山本東1-5-26	0797-89-0666
副会長 川西支部長	渡辺 富夫	川西市南花屋敷3-6-2	072-755-8511
副会長 伊丹支部長	久保 勝平	伊丹市東野6-3	072-782-6350
高槻支部(島本町を含む)	井澤 秀雄	高槻市富田町1-26-11	072-695-7007
準備会世話人	奥田美智子		090-7359-2911
尼崎・西宮支部 準備会世話人	芦田 良雄	尼崎市東灘波町1-1-3-102	090-3673-0396

創立100周年記念事業について

花とみどりと食の創造・未来へ
100年の歴史 花咲く 府立園芸高等学校
(From 1915 To 2015)

大正4年4月に豊能郡立農林学校として設立された園芸高等学校は2015年に満100周年を迎えます。100周年を迎えるに当たり、これまでの一世紀にわたる園芸高等学校の軌跡を振り返るとともに今後のさらなる発展のための再スタートとしたいという学校の考えのもと、一昨年4月に創立100周年記念事業準備委員会を設立しました。本準備委員会会長には大園同窓会会長が、副会長、事務局、幹事にも各支部長が名を挙げ、同窓会としても支援する意向です。

具体的には式典及び記念誌の発行、同窓会館の改修、生徒支援等現在、以下のような事業の実施を計画しております。

■事業案

(現在の予定です。一部変更されることがあります。)

- 1 広報活動
 - ① キヤッチフレーズを作る
 - ② 記念グッズを作る
 - ③ 100周年記念看板をバイパス道路面に作る
- 2 記念碑的構造物の建設
 - ① 同窓会館を改修する
 - ② 記念碑を建立する



3 式典関係

- ① 記念誌・100周年記念グラフィティを編集する
- ② 記念式典・祝賀会を開催する
- 4 イベント関係
 - ① 校地の航空写真撮影
 - ② ミニ花博覧会を開催する
- 5 生徒への支援活動
 - ① 卒業生による人材バンクの設立等

これらの事業を成功裏に実施するには学校やPTAは無論のこと、同窓会の皆様の熱い支援が是非必要と考えております。100周年記念事業への支援(寄付)受付活動を始めておりますが、現在のところ、思うように寄付が集まっていない状態です。すでに協力頂いております方々には厚く感謝申し上げますとともに更に多くの方々の支援をお願い致します。

* すでに協力頂いている方々

（順不同）（敬称は省略させて頂いています）	
佐々木太（学24）（高2）	160,000円
山本秋三（高5）	10,000円
八木雅明（高2）	53,020円分の切手
北口和平（高10）	10,000円
金崎一夫（旧職）ご遺族	100,000円

■寄付口座

ご寄付頂ける方は以下の口座にご入金ください。

三井住友銀行 池田支店
店番号 153 口座番 720016
名義 大阪府立園芸高校創立百周年記念事業準備委員会 代表 山本秋三

生徒の活躍

クラブ活動

■陸上競技部

現在3年生2名、2年生5名、1年生2名で合計9名です。各自、地区記録会、インターハイ予選、実業大会など公式戦で自己ベストが出せるよう日々の練習に励んでいます。出場種目は、短距離、長距離、走高跳びです。

■男子バスケットボール部

昨年度実業大会準優勝(4年連続)、本年度は8月に開催されますが、優勝をめざしています。インターハイ予選は、おしくも目標のBest16入りならず、一步手前で敗退。ウインターカップ予選では、目標のBest16達成をねらっています。

■女子バスケットボール部

3月の卒業生で部員はいなくなりましたが、1年生が入部し、再開して練習に励んでいます。

■卓球部

今年度より公式戦に参加し、毎日練習に頑張っています。

■テニス部

3年生5名、2年生2名、1年生3名で練習を頑張っています。今年は女子部員が少なく、実業大会団体戦は男子のみの出場となりますが、暑い中毎日練習しています。

■サッカー部

現在選手12名、マネージャー5名の17名で毎日活動しています。練習試合を含め、試合は毎週行い、この夏休みには2泊3日で滋賀県にて合宿を行いました。

合宿では15チームが3ブロックに分かれて順位を決定したのち、オープン大会を行って試合を行う形式をとる大会を行っていましたが、本サッカー部はブロックを1位で通過、オープンゲームでは惜敗しましたが、15チーム中4位の成績を残しました。

9月4日に選手権予選が始まるので、現在それに向けて調整中です。

■剣道部

今年度は1年の新入部員が3名あり、活発な活動をしています。久しぶりに団体戦にも参加できました。

8月13日(土) 実業高校大会結果
女子個人の部
3位 1-3 荻野 歩

男子個人の部 二段以上の部
優勝 3-2 高木 剛

男子個人の部 初段以下の部
3位 1-2 平田 達也

男子団体の部 2位

■空手道部

初心者で入部した3年生は4月までに全員が初段に合格しました。6月の春季大会の団体組手では、有力校の1つである汎愛高校と対戦しました。2対3で惜しくも敗れましたが、好試合でした。3年生が引退して部員が1人になっていますが、OBや3年生の指導で毎日よく練習しています。来年は新入部員を確保し空手道部の伝統を守ります。

■バドミントン部

バドミントン部は3年生1人、2年生7人、1年生5人の13人で活動しています。今年はコーチの指導も受ける機会があり、出場大会では成果を上げ始めています。

7月に行われた第46回実業高等学校総合体育大会バドミントン競技の部で

は、女子が2年ぶりに団体優勝を奪還し個人戦も全て優勝の総合優勝を掴むことができました。これを励みに、高体連主催の府大会や地区大会、そして来年に向けても頑張っていきたいと思います。応援宜しくお願いします。

■漫画イラスト研究部

部員は約30名で、当校の記念祭での部誌の発行や、コンクールへの応募などに各自取り組んでおります。

■軽音楽部

今年度は軽音楽系クラブコンテスト We are Sneaker Ageに参加しました。1年生も20名以上入部し、40名を超える部員が活動しています。

■美術部

昨年は通常の高校展(大阪府下の高校生が大阪市立美術館で行う美術展)出品以外に国道沿いの壁画制作に挑戦しました。部員以外の協力も得ながら、また学習奨励金の援助も受け、「おおきなカブ」をモチーフに大きな作品を制作することができました。道行く人がいろいろと声をかけてくださるなど、楽しく貴重な体験でした。ありがとうございました。道行く人がいろいろと声をかけてくださるなど、楽しく貴重な体験でした。ありがとうございました。



各科の活動

■フラワーファクトリー科

1月8日、池田市ウィンドフェスティバル会場を2年生観衆ラン班が飾り付けを行いました。卒業式・入学式の会場を例年通り花で飾りました。草花デザインコースの2年生が飾り付けました。



4月29・30日、デザイン専攻生が石橋商店街の第12回「春団治祭り」において花壇苗などの農場生産物を販売しました。大好評でした。

6月、園芸デザイン専攻生がURアルビス緑が丘と豊島北2丁目公園とで花壇製作協力として校外実習を行いました。

校外での実習も行っています。8月、宝塚ガーデンフィールズで庭園としての池の管理実

習、丹波の大地農園ドライフフラワー・プリザードフラワーの生産加工装飾についての実習を行いました。

校内でもいろいろな実習をしています。外部講師の三宅智先生・藤井和子先生をお招きし、プロパンス風最新パリのフラワーアレンジ・ジメント・造形ブーケ・モダンスタイルのトライアングラーなどの実習を行いました。

今年度は大阪府学校農業クラブの事務局で、大阪府大会での舞台装飾を2・3年生で行いました。

今年度は大阪府学校農業クラブの事務局で、大阪府大会での舞台装飾を2・3年生で行いました。

今年度は大阪府学校農業クラブの事務局で、大阪府大会での舞台装飾を2・3年生で行いました。

■環境緑化科

◎全日本学校関係緑化コンクールで準特選を受賞しました



入賞数は小学校18校、中学校3校、高校2校の計23校であり、入賞校は第62回全国植樹祭に招待されました。賞の種類は特選、準特選、入賞の3

つがあります。本校は第2位の準特選を受賞しました。

全国植樹祭は平成23年5月22日に和歌山県田辺市の新庄総合公園で開催されました。当日は天皇皇后両陛下にご臨席賜り、ウバメガシ、ヒノキ、イチイガシ、ヤマザクラ、クスノキをお手植えにられました。コウヤマキ、オガタマノキ、クマノミズキ、トガザクラはお手播きにられました。全国植樹祭に関する詳しい内容は第62回全国植樹のホームページをご覧ください。

また、梅田スカイビル公開緑地「花野」、兵庫県伊丹市笹原公園、大阪狭山市狭山池公園、大阪府茨木市彩都西公園、大阪府箕面市箕面森町のバタフライガーデンづくりに苗木の提供や植栽協力等を行ったことも評価されました。バタフライガーデンづくりに関しては本校以外で蝶の食餌植物、吸蜜植物を提供できることはまったくないため、本校に依頼がきます。

受賞理由
は校内に造っている池泉回遊式日本庭園の維持管理です。庭園の周囲には樹齢90年以上の原木が何本もあり、さらにイチイガシ、タブノキ、サイカチ、マテバシイ等の様々な樹種が植栽されているからです。

平成23年度全日本学校関係緑化コンクール
学校林等活動の部に環境緑化科が応募し、準特選(国土緑化推進機構会長賞)を受賞しました。

受賞理由
は校内に造っている池泉回遊式日本庭園の維持管理です。庭園の周囲には樹齢90年以上の原木が何本もあり、さらにイチイガシ、タブノキ、サイカチ、マテバシイ等の様々な樹種が植栽されているからです。

入賞数は小学校18校、中学校3校、高校2校の計23校であり、入賞校は第62回全国植樹祭に招待されました。賞の種類は特選、準特選、入賞の3

つがあります。本校は第2位の準特選を受賞しました。

全国植樹祭は平成23年5月22日に和歌山県田辺市の新庄総合公園で開催されました。当日は天皇皇后両陛下にご臨席賜り、ウバメガシ、ヒノキ、イチイガシ、ヤマザクラ、クスノキをお手植えにられました。コウヤマキ、オガタマノキ、クマノミズキ、トガザクラはお手播きにられました。全国植樹祭に関する詳しい内容は第62回全国植樹のホームページをご覧ください。

また、梅田スカイビル公開緑地「花野」、兵庫県伊丹市笹原公園、大阪狭山市狭山池公園、大阪府茨木市彩都西公園、大阪府箕面市箕面森町のバタフライガーデンづくりに苗木の提供や植栽協力等を行ったことも評価されました。バタフライガーデンづくりに関しては本校以外で蝶の食餌植物、吸蜜植物を提供できることはまったくないため、本校に依頼がきます。

受賞理由
は校内に造っている池泉回遊式日本庭園の維持管理です。庭園の周囲には樹齢90年以上の原木が何本もあり、さらにイチイガシ、タブノキ、サイカチ、マテバシイ等の様々な樹種が植栽されているからです。

平成23年度全日本学校関係緑化コンクール
学校林等活動の部に環境緑化科が応募し、準特選(国土緑化推進機構会長賞)を受賞しました。



2級造園技能検定(実技検定)を受ける大下浦直希君(右)と岡華子さん(左)

平成23年8月11日、12日の両日山形県鶴岡市でおこなわれた慶応義塾大学先端生命科学研究所等主催の高校生バイオサミットでバイオサミットで研究発表を行いました。

◎第1回高校生バイオサミット in 鶴岡で審査員特別賞受賞

平成23年8月11日、12日の両日山形県鶴岡市でおこなわれた慶応義塾大学先端生命科学研究所等主催の高校生バイオサミットでバイオサミットで研究発表を行いました。



平成23年7月17日(日)大阪会場(大阪教育大学柏原キャンパス)で行われた国際生物学オリンピック主催の日本生物学オリンピック予選に今年3年生3名、2年生3名、1年生4名、計10名のバイオサイエンス科の生徒が挑戦しました。残念ながら今年に入賞者はいませんでした。今年には参加を初めて5年目ですが最大の参加者数となりました。2学期から始まる来年の予選に向けての勉強会に多くの生徒が参加してくれることを期待しています。

平成23年8月11日、12日の両日山形県鶴岡市でおこなわれた慶応義塾大学先端生命科学研究所等主催の高校生バイオサミットでバイオサミットで研究発表を行いました。

◎第1回高校生バイオサミット in 鶴岡で審査員特別賞受賞

平成23年8月11日、12日の両日山形県鶴岡市でおこなわれた慶応義塾大学先端生命科学研究所等主催の高校生バイオサミットでバイオサミットで研究発表を行いました。

平成23年7月17日(日)大阪会場(大阪教育大学柏原キャンパス)で行われた国際生物学オリンピック主催の日本生物学オリンピック予選に今年3年生3名、2年生3名、1年生4名、計10名のバイオサイエンス科の生徒が挑戦しました。残念ながら今年に入賞者はいませんでした。今年には参加を初めて5年目ですが最大の参加者数となりました。2学期から始まる来年の予選に向けての勉強会に多くの生徒が参加してくれることを期待しています。

平成23年7月17日(日)大阪会場(大阪教育大学柏原キャンパス)で行われた国際生物学オリンピック主催の日本生物学オリンピック予選に今年3年生3名、2年生3名、1年生4名、計10名のバイオサイエンス科の生徒が挑戦しました。残念ながら今年に入賞者はいませんでした。今年には参加を初めて5年目ですが最大の参加者数となりました。2学期から始まる来年の予選に向けての勉強会に多くの生徒が参加してくれることを期待しています。

平成23年7月17日(日)大阪会場(大阪教育大学柏原キャンパス)で行われた国際生物学オリンピック主催の日本生物学オリンピック予選に今年3年生3名、2年生3名、1年生4名、計10名のバイオサイエンス科の生徒が挑戦しました。残念ながら今年に入賞者はいませんでした。今年には参加を初めて5年目ですが最大の参加者数となりました。2学期から始まる来年の予選に向けての勉強会に多くの生徒が参加してくれることを期待しています。

平成23年8月11日、12日の両日山形県鶴岡市でおこなわれた慶応義塾大学先端生命科学研究所等主催の高校生バイオサミットでバイオサミットで研究発表を行いました。

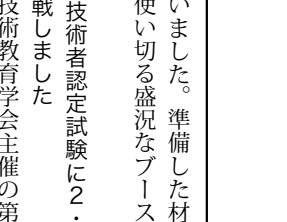
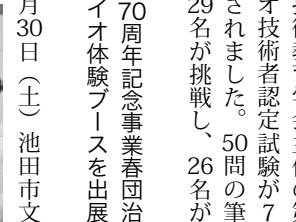
◎第1回高校生バイオサミット in 鶴岡で審査員特別賞受賞

平成23年8月11日、12日の両日山形県鶴岡市でおこなわれた慶応義塾大学先端生命科学研究所等主催の高校生バイオサミットでバイオサミットで研究発表を行いました。

平成23年7月17日(日)大阪会場(大阪教育大学柏原キャンパス)で行われた国際生物学オリンピック主催の日本生物学オリンピック予選に今年3年生3名、2年生3名、1年生4名、計10名のバイオサイエンス科の生徒が挑戦しました。残念ながら今年に入賞者はいませんでした。今年には参加を初めて5年目ですが最大の参加者数となりました。2学期から始まる来年の予選に向けての勉強会に多くの生徒が参加してくれることを期待しています。

平成23年7月17日(日)大阪会場(大阪教育大学柏原キャンパス)で行われた国際生物学オリンピック主催の日本生物学オリンピック予選に今年3年生3名、2年生3名、1年生4名、計10名のバイオサイエンス科の生徒が挑戦しました。残念ながら今年に入賞者はいませんでした。今年には参加を初めて5年目ですが最大の参加者数となりました。2学期から始まる来年の予選に向けての勉強会に多くの生徒が参加してくれることを期待しています。

平成23年7月17日(日)大阪会場(大阪教育大学柏原キャンパス)で行われた国際生物学オリンピック主催の日本生物学オリンピック予選に今年3年生3名、2年生3名、1年生4名、計10名のバイオサイエンス科の生徒が挑戦しました。残念ながら今年に入賞者はいませんでした。今年には参加を初めて5年目ですが最大の参加者数となりました。2学期から始まる来年の予選に向けての勉強会に多くの生徒が参加してくれることを期待しています。



2010年度
進路状況

就職関係

【専門関連企業】

阪神園芸・能勢観光開発・養正園・マリンフード・日澱化学・大日本住友製薬・三栄源エフエフアイ・クリエティブ阪急・第一屋製パン・山崎製パン・阪急ベーカーリー・明治屋パン・喜八洲総本舗(販売)・ドリールフーズ・小鯛産産物など

【一般企業】

双葉産業・廣済堂・(株)カノ・資生堂大阪工場・ナカコーポレーション・PGSホーム・ホリデーカーサービス・アイビー商事 箕面観光ホテル・神崎・マスターズゴルフ倶楽部・池田開発・(株)にしけい・貴生病院(看護助手)・彩都リハビリテーション病院(看護助手)・エルケア(介護) など

進学関係

◎国公立大学

農業高校推薦

1名合格

京都教育大学教育学部

技術領域専攻

◎私立大学

28名合格

【関連】

近畿大学農学部・日本大学生物資源学部・京都大学大学院環境学・長浜バイオ大学バイオサイエンス学部・甲子園大学栄養学部・南九州大学環境園芸学部・大阪芸術大学環境デザイン学科・大阪産業大学生活環境学科・千里金蘭大学生活科学部食

物栄養学科・名城大学農学部・他

【非関連】

関西大学(昨年度生)・大手前大学現代社会学部・大阪学院大学法学部・大阪青山大学健康科学部・京都精華大学文学部・梅花女子大学生活科学部・園田学園女子大学人間健康学部・他

◎短期大学

13名合格

青山短大調理製菓・幼児教育学科・甲子園短大生活環境学科・東洋食品工業短大包装食品工学科・芦屋女子短大幼児教育学科・堺女子短大美容生活文化学科・大阪産業大学短大自動車工学科・白鳥大学短大生活科学学科・大阪国際大学短大・他

◎専門学校・各種学校等

46名合格

園芸高校63回生
入会式

平成23年3月3日に母校で卒業式の予行がありました。その後、高63回卒業生に対する大園同窓会への入会式を執り行いました。

同窓会代表の大島副会長による式辞に続き、幹事となる代表者への委嘱状の授与が行われました。

幹事となられた方を紹介します。
フラワーファクトリー科 菊野 佑哉
環境緑化科 松永 幸子
バイオサイエンス科 濱地 輝
佐藤 孝明

平成24年度

大園同窓会総会のご案内

日時	2012年1月29日(日) 午前11時開会
会場	箕面観光ホテル 〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1 Tel 072-723-2323 (代表)
案件	・会計報告 ・行事報告 ・その他

総会に出席される方は、年会費を所定の方法により11月末までに事務局が確認できる形で納入してください。後ほど、(株)サトより案内および申込のお知らせが郵送されます。12月15日の発送を予定しております。

編集後記

東日本大震災と大津波、原発事故と大変な年となりました。本校移転問題も敷地の一部を池田市へ譲渡?など、まだまだ予断を許さない状況です。まず100周年を目標に、卒業生がしっかり連携することが、学校を、伝統を守ることとなります。今後とも同窓会へのご支援をお願い致します。

創立記念祭のご案内

日時 11月13日(日) 10時~15時

当日は、11時から実習庭園内の同窓会館にて紅茶・コーヒー等の用意をしております。同期の方々とお立ち寄りください。

なお、今までお配りしておりました来校記念の粗品は廃止となりました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

また、当日は車でのご来場はご遠慮願います。

大園同窓会ホームページ <http://www.daiendosokai.com>

同窓会では皆様方の交流の場となりますようホームページを開設しております。

ご覧いただく為に、①トップページの「新規登録」からユーザ情報を入力し「送信」。

②会員の確認が済めば、ご本人宛に承認メールが届き、会員登録が完了。

③メールのサイトURLをクリックし、「ログイン画面」よりログイン。

【問い合わせ先】 トップページ右上の「お問い合わせ」より必要事項を入力の上送信してください。

連絡・住所変更/訂正受付専用ホームページ(Web調査) <http://www.dousoukai.ne.jp/>

同窓会では、住所変更連絡をWeb上で受け付けられるようになりました。

○振込用紙右側「年会費振込みのお願い」にある各個人用の「仮ID」を、入力画面にて入力。

○ご本人宛に「正式なID」のメールが届きます。

○正式なIDを取得後、ご自身の住所・電話番号等のデータをWeb調査画面より修正していただけます。

【問い合わせ先】 このホームページに関するご意見・ご感想は info@dousoukai.ne.jp まで

事務局あて先

連絡は郵送かFAX、メールに限ります。電話での問い合わせにはお受けできません。

大阪府立園芸高等学校内 大園同窓会事務局 〒563-0037 大阪府池田市八王寺2-5-1 FAX 072-761-9295